

# VTホールディングス(株) (7593 東証1部)連結

発行元: 株式会社KCR総研 電話06-6965-6100

監修アナリスト 金田一 洋次郎

## 基本情報

発表日	郵便番号	住所	電話番号
17/1/17	460-0003	名古屋市中区錦3-10-32	052-203-9500
【設立年月】	1983/03	【業種】 小売業	【決算期】 3月
【代表者】	高橋 一穂	【生年月日】 1953年1月18日	【開示責任者】 取締役管理部長 山内 一郎
【優待】	有	- 円相当	【取引単位(株)】 100
【配当利回】	2.9 %	【時価総額(百万円)】 66,973	【優待内容・中間配】 車検時利用優待券もしくはカタログギフト等、中間配当有
【優待利回】	- %	【高値騰落率】 -35.5	【予想PER】 16.5
【実質利回】	- %	【安値騰落率】 444.7	【PBR(倍)】 2.03

## 事業内容

カーディラー専業。ホンダ系、日産系を主軸にディーラー業務を世界的に展開。  
M&A戦略による成長戦略とストック型ビジネスモデルに特長。

## 決算情報

決算期	売上高 (伸び率) (百万円)	経常利益 (伸び率) (百万円)	1株当たり 利益 (円)	1株当たり 配当金 (円)	売上高 経常 利益率		
13/03連	118,317	7,659	44.9	10.0	6.5%		
14/03連	132,682	12.1%	9,976	30.3%	46.3	12.3	7.5%
15/03連	136,376	2.8%	7,434	-25.5%	39.4	14.0	5.5%
16/03連	146,468	7.4%	7,603	2.3%	34.8	18.0	5.2%
今KCR予想	174,297	19.0%	8,018	5.5%	40.3	18.0	4.6%
来KCR予想	209,156	20.0%	10,458	30.4%	51.5	21.0	5.0%

## 投資判断

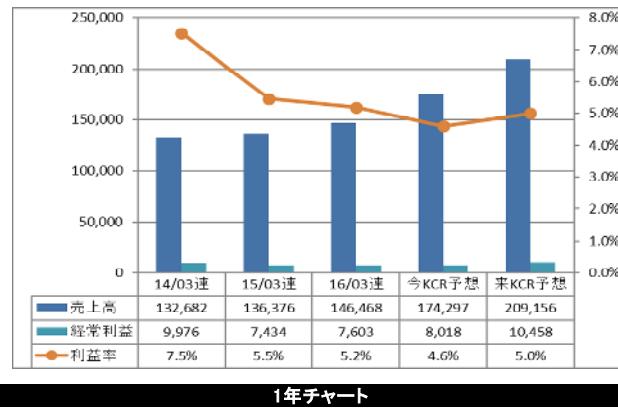
## 総合判断レーティング

+2 BUY



## 目標株価

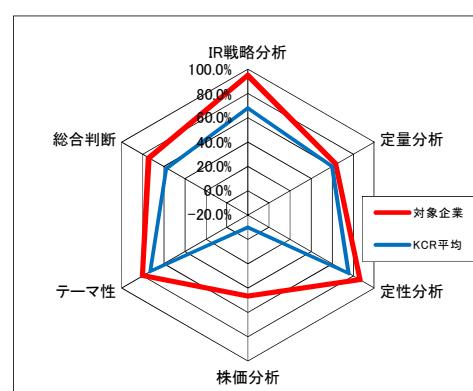
778 円



現在株価

561 円

KCR総研はVTホールディングス(7593 東証1部)の総合判断レーティングを+2(BUY★★★★)とし投資判断を買い推奨(1年内に+10%~のアウトパフォームが予想される銘柄)を継続と発表する。総合判断レーティングの根拠として定量分析指標においては平均値を3.9%上回っており、定性分析指標において平均値を10.9%上回っている。株価は平均値より56.7%程度割安に推移しており、IR戦略は平均値を27.0%上回っている。またテーマ性においては平均値を7.0%上回っている。総合判断指標は平均を17.0%上回っていることから目標株価778円とする。



	IR戦略分析	定量分析	定性分析	株価分析	テーマ性	総合判断
対象企業	95.0%	63.9%	86.8%	46.5%	80.0%	74.2%
KCR平均	68.0%	60.0%	75.9%	-10.2%	73.0%	57.2%
差異	27.0%	3.9%	10.9%	56.7%	7.0%	17.0%

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧説を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいておりますが、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役職員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

## VTホールディングス(株)

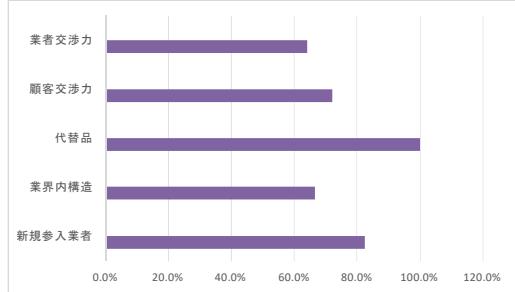
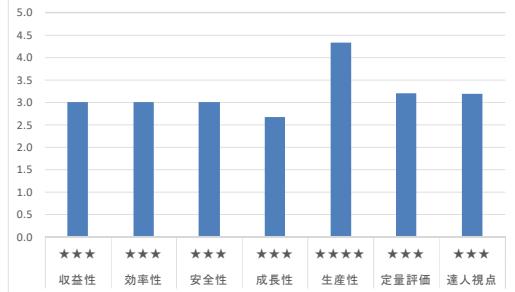
【コード】 【業種】 【市場】 【決算】 【主幹事】 【現在株価】 561 円 【現在時価総額】 66,973 百万円  
 7593 小売業 東証1部 3月 東海東京  
 【事業内容】 カーティラー専業。ホンダ系、日産系を主軸にディーラー業務を世界的に展開。M&A戦略による成長戦略とストック型ビジネスモデルに特長。

17/1/17

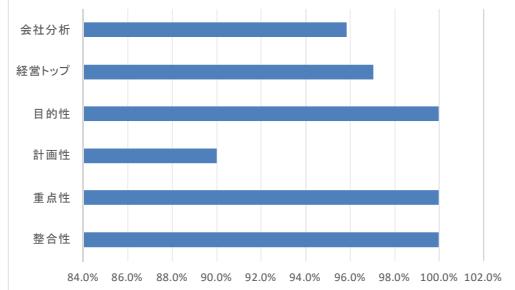
## 総合判断

+2 BUY

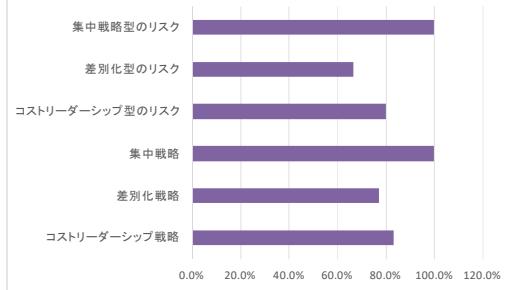
前回レーティング	+2 BUY
参考株価	757 円



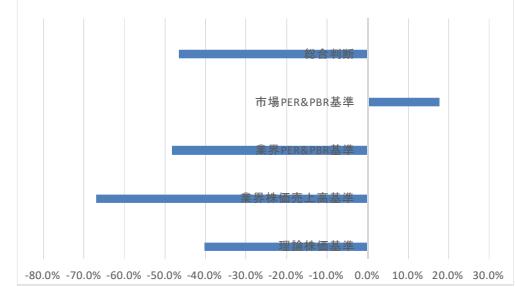
## 定量分析判断



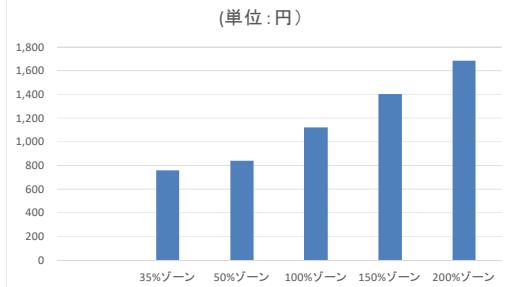
## 5フォース分析



## 戦略性チェック分析



## 戦略類型分析



## 株価分析判断

定量分析判断	総合評価	チャート	テーマ性	4指標総合判断		総合評価指数
				★★★★	★★★★★	
収益性	★★★	★★★	★★★	3.2	評価指標	80.0%
効率性	★★★	★★★	★★★	63.9%	評価指標	80.0%
安全性	★★★	★★★	★★★			
成長性	★★★	★★★	★★★			
生産性	★★★★	★★★★	★★★★			
定量評価	★★★★	★★★★	★★★★			
達人視点	★★★★	★★★★	★★★★			

## 参考株価

総合評価	チャート	評点	評価指標
★★★★★	80.0%	285	95.0%

## 株価分析判断

理論株価基準	業界株価売上高基準	業界PER&PBR基準	市場PER&PBR基準	総合判断	
★★★★★	★★★★★	★★★★★	★★★★★	★★★★★	
-40.2%	-67.0%	-48.2%	17.9%	-46.5%	
参考株価	35%ゾーン 757	50%ゾーン 842	100%ゾーン 1,122	150%ゾーン 1,403	200%ゾーン 1,683
(単位:円)					
参考時価総額	20%ゾーン 80,367.3	50%ゾーン 100,459.1	100%ゾーン 133,945.5	200%ゾーン 200,918.3	-
(単位:百万円)					

## IR戦略分析

評点	評価指標
285	95.0%

KCR-総合判断レーティングレポートとは、IR戦略分析、定量分析、定性分析、株価分析を解析し、全体的なスコア、バランス、株価チャート、テーマ性を考えて、総合評価指数を算定し、+1～+5までの5段階で最終判断する。カバーリング企業には、投資判断レポートにて目標株価を設定する。

## ※レーティングの見方

レーティング	総合評価指標
+1 Strong Buy	80%～100%～
+2 Buy	60%～80%
+3 Neutral	40%～60%
+4 Sell	20%～40%
+5 Strong Sell	～0%～20%

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧説を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいておりますが、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役職員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送を行わないようお願いします。

## VTホールディングス(株)

## (7593 東証1部)連結

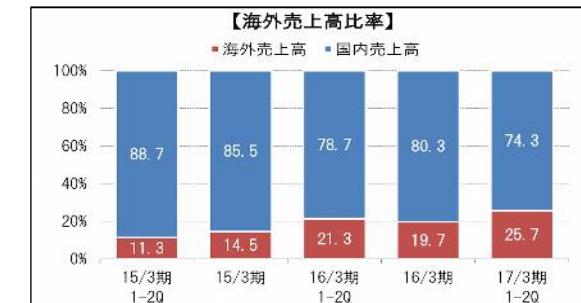
### 会社概要と沿革

#### 世界的自動車ディーラーとして、M&Aにより成長を続ける

VTホールディングス株式会社は、愛知県に本社を置く自動車ディーラーの持株会社である。主として日産、ホンダを扱う自動車ディーラーで、中古車輸出やレンタカー等、自動車関連事業がグループの中核である。

同社の主力の成長戦略はM&Aである。上場の目的自体が、成長のためのM&Aを実施するためであり、上場翌年から毎年のようにM&Aを実施し、極めて高い成長率を誇っている。

同社は、主要子会社であるホンダカーズ東海、長野日産自動車、静岡日産自動車、三河日産自動車、日産サティオ埼玉、日産サティオ奈良の主要6社で売上高全体の54%を占めており、そのうち日産系ディーラーの比率は39%である。近年は、海外M&Aに注力し、グローバル化を急速に進めており、海外のディーラー比率が伸びてきている。【図表1参照】自動車ディーラー業以外では、連結子会社として中古車輸出のトラスト(3347 東証2部上場)を開拓するほかトラストの子会社としてJ-netレンタリースにてレンタカー事業を展開。また、東海地区を中心に分譲マンションを展開するエムジーホーム(8891 東証2部上場)を傘下に收めている。



【図表1 海外売上比率  
出所:同社IR資料】

### ビジネスモデルに3つの戦略

同社の成長のためのビジネスモデルには、大きく3つの戦略がある。一つは、上場以来、積極的に展開するM&A戦略。二つ目は、高い基盤収益力バー率、三つ目がストック型ビジネスモデルである。これら3つ戦略により高い成長と安定収益の実現をスピード感を持って達成することを目標としている。

同社の成長の源は、M&A戦略であるが、買収した企業を収益化するスピードにも特長がある。基盤収益力バー率とは、新車以外の粗利益 ÷ 販管費で示され、新車以外の部門の利益で、販管費をどの程度カバーできるかを表す指標であり、100%を超えると、新車が売れなくとも赤字にならないことを示している。同社の主要ディーラー平均は、2017年3月期第2四半期時点での粗利潤率で109.8%で、これは新車販売に大きく左右されない体質であることを示している。また、同社粗利の約4割は、サービス部門が占めている。サービス収益の向上は、新車販売台数ではなく保有台数を収益源とするストックビジネスモデルであるため、同社グループの取扱い台数を増加させれば増加させるほど収益率が向上する仕組みとなっている。結果として、VTグループ全体の営業利益率と、業界平均営業利益率は、大きな差が開いている。

### 特長と強み

## VTホールディングス(株)

## (7593 東証1部)連結

**直近業績****第2四半期売上高は過去最高を更新、業績予想を修正**

2017年3月期第2四半期連結売上高は過去最高を更新した。静岡BMW(2016年4月営業開始)とWessex Garage Holdings(2016年5月子会社化)の2社のM&Aが大きく寄与した。また、三菱自動車の燃費不正問題の影響を反映した2016年6月13日公表の業績予想に対して、想定より早く日産のデイズとデイズルークスの販売停止が解除されたこと等により、利益面で上方修正となった。一方、円高の影響で海外売上が円換算で減少したこともあり、売上高はほぼ横ばいとなった。

2017年3月期第2四半期の連結売上高は73,469百万円(前年同期比1.9%増)、営業利益は3,042百万円(同19.2%減)、経常利益は3,046百万円(同18.6%減)、純利益は1,690百万円(同10.2%減)となった。

主たる減益の要因は、三菱自動車の燃費試験データ不正問題により、車両供給先である日産自動車の軽自動車2種類が4月から6月にかけて販売停止となったことが大きく響いている。その結果、同社の新車、中古を合わせた自動車販売台数は36,753台(前期比1.3%増)となり、自動車販売関連事業の売上高は710億72百万円(前年同期比2.7%増)、営業利益は32億5百万円(前年同期比17.2%減)となった。住宅関連事業においては、売上高は売上高は23億25百万円(前年同期比16.3%減)と減収となったが、営業利益は94百万円(前年同期比49.0%増)と増益となった。

**通期計画を上方修正、不正問題の影響は早期に収束**

2016年11月9日付けで2017年3月期の、通期業績予想を上方修正した。売上高は1,740億円(前年同期比18.7%増)、営業利益75億円(同1.5%減)、経常利益75億円(同1.3%減)、純利益40億円(同2.2%減)を見込んでいる。当初予想より、売上高で4.2%、営業利益で11.9%の増加である。

2016年10月3日にM&Aしたスペインの自動車ディーラーグループの持株会社 Master Automocion, S.L.の通期寄与分の加算のほか、三菱自動車の燃費不正問題の影響から上期は販売停止、下期も販売台数30%減とする予算を組んでいたが、当初の想定より早く7月から販売が再開された。

KCR総研では、海外M&Aが加速する中、通期において、連結売上高は、過去最高を更新することは確実と考えている。また、収益面においても、不正問題早期収束に加え、同社主力の日産自動車では新車「セレナ」及びホンダでは人気車種「フリード」の販売が好調に推移していることや、これらは新型車種であるため利益率が高いことを想定すると、会社予想以上の利益が達成できると見込んでいる。KCR総研では、売上高1742億97百万円、営業利益80億18百万円、経常利益80億18百万円、純利益48億11百万円を予想しており、業績好調を背景に増配も示唆している。

**今後の見通し**

**VTホールディングス(株)****(7593 東証1部)連結****市場環境****国内販売台数は減少も保有台数は増加、海外展開加速**

国内自動車販売会社の業界団体の発表によれば2016年の新車販売台数は、2015年比1.5%減の497万260台となり、5年ぶりに大台の500万台を割った。排気量が660cc超の登録車は新モデルが好調だったものの、軽自動車の落ち込みを補えなかった。新車販売に占める軽の割合は34.7%と、過去10年で最低の水準となっている。

しかし、国内市場における乗用車保有台数は、車両の保有年数の長期化などにより、2001年以降、16.5%増と増加傾向にある。

同社の場合、新車に依存しない収益体质を築いており、新車販売台数もさることながら、乗用車保有台数が基本的に収益面に大きくヒットする指標となることに注目する必要がある。

また、同社は、こうした国内市場環境を補うべく成長のためにM&Aを積極的に実施している。国内自動車ディーラー市場は、確かな統計はないが、車両販売台数に購入平均単価を乗算したものが、おおよその市場規模といえる。各種統計から新車ディーラー市場は、約11兆円、中古車市場は約2兆円と推計され合計、国内市場のみで約13兆円が国内市場規模であり、現状の同社のシェアは約1%に過ぎず国内においてもM&Aによって成長する市場開拓余地を十分に残しているといえる。

加えて、近年は海外ディーラーのM&Aに注力しており、売上高全体に占める海外比率も急速に上昇している。

**中期経営目標****成長性を重視、早期に連結売上高2000億円目標へ**

同社は、中期経営計画を発表していない。これは、M&A戦略で成長するビジネスモデルであるため、不確定要素が大きいためである。しかし、M&Aは海外市場を含めて積極展開する姿勢を示しており、早期に連結売上高2000億円の達成したいと考えている。

また、同時並行して、高い収益効率を目指し、事業規模の拡大と財務の安定性を両立させ、安定成長を目指すことを経営目標としている。

**定性分析スコア****参入障壁が高く極めて高い戦略レベルを持つ**

自動車ディーラー業界は、メーカーと違い技術革新のリスクにさらされず、将来、決して無くならない業界である。マイケル・ポーターの競争理論に基づくKCR総研独自のスコアリングにおいては、5フォース分析において、新規参入業者83%、業界内構造67%、代替品100%、顧客交渉力72%、業者交渉力64%で業界環境分析73.1%とかなり高い水準である。また、同社戦略型はコストリーダーシップ戦略度83%、差別化戦略度77%、集中戦略度100%と総合戦略度86.9%で極めて高い水準となっている。同社のビジネスモデルにおける将来リスクは、82.2%と極めて低いリスク水準であり、経営バランス分析97.5%、経営トップ、会社分析96.4%、定性分析戦略判断85.5%と分析され、定性総合判断86.8%と極めて高い戦略レベルと判断されている。

(9ページ参照:KCR-定性分析レポート)

**VTホールディングス(株)****(7593 東証1部)連結****経営者経歴****上場時より売上高20倍、経常利益33倍に成長**

同社の現代表取締役であり創業者である高橋一穂氏は、1953年1月18日生まれの63歳である。1972年、愛知日野自動車株式会社に入社し、1978年に独立して中古車販売会社を起業した。1983年に同社を設立し、社長に就任し、自動車ディーラー事業に参入。1998年上場以降は、積極的M&Aで業容を拡大し、上場時から、現在までに売上高で20倍、経常利益で33倍の成長を達成している。

**定量分析スコア****ROEが比較会社と比べて高水準で生産性が高い**

同社は、自動車ディーラー専門企業であるが、資本市場において、同様の業種であるカーディーラーと比較するのは、同社の成長性を正しく反映しない可能性がある。他のカーディーラーは、同社の根幹とも言えるM&A戦略をビジネスモデルの主軸に据えておらず、メーカー系列が主流で、低成長、低収益の企業が多いからである。従って、業種業態は異なっても、M&A戦略を成長モデルに掲げる企業と財務面、株価面を分析することが好ましいと思われる。

KCR総研では、同社の財務分析を実施するにあたり、自動車関連業界である(株)IDOM(7599 東証1部)の他にM&A戦略を成長モデルとして掲げる日本電産株式会社(6594 東証1部)、株式会社コロワイド(7616 東証1部)を選択し3社平均で比較した。

M&Aを主軸として成長戦略にする企業は、総じて、安全性の指標である負債比率が高くなりがちであり、自己資本比率が低いのが特長である。同社においても、前期負債比率は184.2%、自己資本比率は34.4%と、一般的に安全性は低く感じるが、こうした問題は、M&A戦略成長企業に共通してみられる兆候であり、先に掲げた3社の前期平均負債比率は219.5%、前期平均自己資本比率は37.1%であり、遜色がないことが分かる。また、同社は、前期ROEが12.5%と3社平均8.0%と比較しても、収益性が極めて高く従業員一人当たりの生産性が高いことも特長である。

(10ページ参照:KCR-定量分析レポート)

**株価分析スコア****理論株価の総合評価は、1049円と割安に推移**

KCR総研の株価分析による理論株価算定においては、類似会社比準方式による平均値で1089円と理論値を下回っていて割安な水準、全理論株価平均でも937円と割安な状況にある。類似企業の売上高倍率平均比較では1698円と割安、EPS・PBR平均比較では1082円と割安、市場とのEPS・PBR平均比較では476円ではあるが、4平均総合評価は1049円と割安の水準と分析され、現状株価561円は、極めて割安な株価といえる。

(8ページ参照:KCR-株価分析レポート)

## VTホールディングス(株)

## (7593 東証1部)連結

## IR戦略と株主還元

## 配当性向40%以上、年間16円を見込む

同社のIR活動は、5段階評価でIRオフライン充実度5、IRオンライン充実度5、IRツール充実度3、IRフェアディスクロ度5であり、IR経営戦略度5、総合評点95.0%、285ポイントと判断される。(19ページ参照参照:KCR-IR戦略分析レポート)

同水準は、極めて高いレベルでIR活動を実施しているということであり、同社が、株主・投資家政策を重視している表れである。

株主還元にも積極的に取り組んでおり、引き続き連結配当性向40%以上を目指して継続的な配当を実施する予定である。2017年3月期は普通配当で1株当たり年間16円を予定している。

## まとめ

## レポートのまとめ

○VTホールディングス株式会社は、日産、ホンダを主力に扱うグローバル自動車ディーラーである。近年、海外M&Aを積極的に展開し、世界展開を加速している。

○2016年10月、スペインの自動車ディーラー及び自動車関連事業を営む M Automocion グループ(年商約195億円)のM&Aを実施し、子会社化した。

○2017年3月期第2四半期連結売上高は過去最高を更新した。連結売上高は73,469百万円(前年同期比1.9%増)、営業利益は3,042百万円(同19.2%減)、経常利益は3,046百万円(同18.6%減)、純利益は1,690百万円(同10.2%減)となった。

○2017年3月期の、通期業績予想を上方修正した。売上高は1,740億円(前年同期比18.7%増)、営業利益75億円(同1.5%減)、経常利益75億円(同1.3%減)、純利益40億円(同2.2%減)を見込んでいる。当初予想より、売上高で4.2%、営業利益で11.9%の増加である。

○KCR総研では、海外M&Aが加速する中、通期において連結売上高は、過去最高を更新することは確実と考えている。KCR総研はVTホールディングスの総合判断レーティングを+2(BUY)とし投資判断を買い推奨を継続と発表する。目標株価を、664円から778円に引き上げる。

## KCR-株価分析レポート

VTホールディングス(株)

(7593 東証1部)連結

売買管理番号 7593SB170117

株価総合判断

理論株価基準	業界株価壳上高基準	業界PER&PBR基準	市場PER&PBR基準
★★★★★	★★★★★	★★★★★	★★★★★

乖離率

算定結果					
類似会社比準方式	1,089 円	-48.5%		直近株価 17/1/17	561 円
簿価純資産額方式	276 円	103.1%		株価収益率	16.74 倍
収益還元方式	1,524 円	-63.2%		株価純資産倍率	2.03 倍
壳上高倍率方式	1,698 円	-67.0%		予想株価収益率(JQ)	17.86 倍
DCF方式	99 円	466.0%	KCR平均	類似企業平均株価収益率	36.17 倍
全理論株価平均	937 円	-40.2%	-4.30%	株価純資産倍率(JQ)	1.28 倍
				類似企業平均株価純資産倍率	3.45 倍
				予想株式益利回り	5.84 %
				予想平均配当利回り(JQ)	1.71 %

前提条件	前々々期	前々期	前期	今期KCR	来期KCR	来々期KCR
(単位:百万円)	実績	実績	実績	予想	予想	予想
売上高	132,682	136,376	146,468	174,297	209,156	250,988
経常利益	9,976	7,434	7,603	8,018	10,458	13,804
当期純利益	5,126	4,633	4,090	4,811	6,275	8,283
営業活動によるCF	13,929	4,259	9,640	7,000	9,000	10,000
投資活動によるCF	-570	-5,017	-3,220	-1,500	-1,500	-2,000

VTホールディングス(株)		類似競合3社		
売上高	174,000 百万円	今期予想	日本電産(株)	(6594 東証1部)連結
経常利益	7,500 百万円	今期予想	(株)IDOM	(7599 東証1部)連結
当期純利益	4,000 百万円	今期予想	(株)コロワイド	(7616 東証1部)連結
自己資本	32,982 百万円	直近値		
発行済株式数	119,381,034 株	直近値		
株価	561 円	直近値		
時価総額	66,973 百万円	直近値		
1株当売上高	1,458 円	類似企業平均時価総額	1,114,439 百万円	乖離率 -94.0%
1株当当期純利益	34 円	類似企業株価壳上高倍率	1.17 倍	-67.0%
1株当純資産	276 円	算定値(※KCR平均-6.6%)	1,698 円	-67.0%
株価壳上高倍率	0.38 倍	EPS × 類似企業平均	1,212 円	-53.7%
株価収益率	16.74 倍	PBR × 類似企業平均	953 円	-41.1%
株価純資産倍率	2.03 倍	類似企業全平均(※KCR平均18.9%)	1,082 円	-48.2%
株価益利回り	5.97%	EPS × 市場平均	598 円	-6.3%
		PBR × 市場平均	354 円	58.6%
		市場全平均(※KCR平均16.9%)	476 円	17.9%
		4平均(※KCR平均-10.2%)	1,049 円	-46.5%

日本電産(株)		A	(株)IDOM	B
売上高	1,200,000 百万円	今期予想	売上高 243,500 百万円	今期予想
経常利益	133,000 百万円	今期予想	経常利益 7,100 百万円	今期予想
当期純利益	100,000 百万円	今期予想	当期純利益 4,100 百万円	今期予想
自己資本	725,437 百万円	今期予想	自己資本 38,304 百万円	今期予想
発行済株式数	298,142,234 株	直近値	発行済株式数 106,888,000 株	直近値
株価	10,495 円	直近値	株価 664 円	直近値
時価総額	3,129,003 百万円	直近値	時価総額 70,974 百万円	直近値
1株当売上高	4,025 円		1株当売上高 2,278 円	
1株当当期純利益	335 円		1株当当期純利益 38 円	
1株当純資産	2,433 円		1株当純資産 358 円	
株価壳上高倍率	2.61 倍		株価壳上高倍率 0.29 倍	
株価収益率	31.29 倍		株価収益率 17.31 倍	
株価純資産倍率	4.31 倍		株価純資産倍率 1.85 倍	
株価益利回り	3.20%		株価益利回り 5.78%	

(株)コロワイド		C	KCR-株価分析レポートは、KCR業績予想に基づく類似会社比準方式、簿価純資産方式、収益還元方式、売上高倍率方式、ディスクOUNTキャッシュフロー方式の5つの理論株価総合平均に加え市場及び業界のPER、PBRを加味した理論値からのかい離率によって企業の株価の割高度、割安度を格付するレポートでありマイナス乖離ほど割安企業であることを示している。		
売上高	240,310 百万円	今期予想	1株当売上高	2,278 円	
経常利益	6,547 百万円	今期予想	1株当当期純利益	38 円	
当期純利益	2,393 百万円	今期予想	1株当純資産	358 円	
自己資本	34,261 百万円	今期予想	株価壳上高倍率	0.29 倍	
発行済株式数	75,284,041 株	直近値	株価収益率	17.31 倍	
株価	1,904 円	直近値	株価純資産倍率	1.85 倍	
時価総額	143,341 百万円		株価益利回り	5.78%	
1株当売上高	3,192 円				
1株当当期純利益	32 円				
1株当純資産	455 円				
株価壳上高倍率	0.60 倍				
株価収益率	59.90 倍				
株価純資産倍率	4.18 倍				
株価益利回り	1.67%				

	A	B	C	平均株価	平均EPS	平均BPS	算定価格
	A	B	C	4,354	135.2	1,082	1,095
	A	B		5,580	186.9	1,396	1,052
	A		C	6,200	183.6	1,444	1,159
		B	C	1,284	35	407	1,049

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧説を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足る考へる情報源から得たデータ等に基づいておりますが、KCR業績研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたかかる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予報なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役職員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKCR業績研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。	★の見方	★★★★★	かなり割安
		★★★★	割安
		★★★	標準
		★★	割高
		★	かなり割高

## VTホールディングス(株)

【コード】 【業種】 【市場】 【決算】 【代表者】

7593

小売業

東証1部

3月

高橋 一穂

【事業内容】

カーティーラー専業。ホンダ系、日産系を主軸にディーラー業務を世界的に展開。M&amp;A戦略による成長戦略とストック型ビジネスモデルに特長。

## 定性総合判断



総合判断	86.8%	★★★★★
戦略判断	85.5%	★★★★★
新規参入業者	82.5%	★★★★★
業界内構造	66.7%	★★★★★
代替品	100.0%	★★★★★
顧客交渉力	72.2%	★★★★★
業者交渉力	64.3%	★★★★★

整合性	100.0%	★★★★★	コストリーダーシップ戦略	83.3%	★★★★★
重点性	100.0%	★★★★★	差別化戦略	77.3%	★★★★★
計画性	90.0%	★★★★★	集中戦略	100.0%	★★★★★
目的性	100.0%	★★★★★	コストリーダーシップ型のリスク	80.0%	★★★★★
經營トップ	97.1%	★★★★★	差別化型のリスク	66.7%	★★★★★
会社分析	95.8%	★★★★★	集中戦略型のリスク	100.0%	★★★★★

■ファイブフォース分析	業界の競争要因・企業体質を見極める
業界環境分析	73.1% KCR平均 64.0%

■戦略類型分析	戦略型を確認するとともにバランスを見極める
戦略型分析	86.9% KCR平均 78.9%

対象セクター 自動車ディーラー業界

新規参入業者	規模の経済性	10
	製品の差別化	5
	巨額の投資	5
	調達先変更のコスト	10
	流通チャネルの確保	10
	規模以外のコスト面での優位性	6
	官の規制	10
	強い報復活動	10
	小計	80
	83%	66

業界内構造	同業者・同規模会社の数	10
	成長スピード	5
	固定・在庫コストの規模	10
	差別化	0
	顧客の定着化	10
	供給能力の拡大	10
	異質な戦略	0
	戦略結果の果実	5
	撤退障壁	10
	小計	90
	67%	60

代替品	同機能低価格の可能性	10
	小計	20
	100%	20
	顧客の力	10
	顧客の数	10
	顧客コストの割合	5
	差別化	5
	スイッチングコスト	0
	裕福度	5
	川上統合可能性	10

顧客交渉力	必要性	10
	情報量	10
	寡占化	5
	代替・変革可能性	10
	顧客重要度	10
	必要性	0
	差別化	5
	スイッチングコスト	10
	川下統合可能性	5
	小計	70
	64%	45
	合計	350
	73%	256

コストリーダーシップ戦略	業界最安値格	5
	低コスト体質	10
	粗利基率	10
	設備投資	5
	プロセス技術	10
	流通コスト	10
	資金力	5
	資金調達力	5
	システム完成度	10
	コスト管理・体制	10
	権限・責任	10
	成果報酬制度	10
	合計	120
	83%	100

差別化戦略	製品設計	0
	ブランドイメージ	10
	テクノロジー	5
	製品特長	10
	顧客サービス	10
	流通ネットワーク	10
	マーケティング能力	10
	研究開発力	0
	経験値	10
	想像力	10
	人材システム	10
	合計	110
	77%	85

集中戦略	特定ターゲットへの投資	10
	特定製品への投資	10
	特定エリアへの投資	10
	特定セグメントへの投資	10
	合計	40
	100%	40
	将来の検証 & リスク分析	将来の脅威に対するリスクを見極める
	リスク分析	82.2% KCR平均 61.4%
	合計	50
	80%	40

コストリーダーシップ戦略のリスク	他社による技術革新可能性	10
	ライバル企業の低成本化	10
	製品の改良	10
	マーケティングの改良	10
	コストアップフレの影響	0
	合計	50
	80%	40
	他社へのブランド指名買い	0
	顧客ニーズの変化	10
	模倣の乱発	10
	合計	30
	67%	20

集中戦略のリスク	コスト優位性の崩壊	10
	特異ニーズの崩壊	10
	特定ターゲットの細分化	10
	合計	30
	100%	30
	その他の定性要因	戦略とは別の要因をチェック
	96.4%	KCR平均 91.2%
	合計	170
	97%	165
	金額分析	本社・環境・社風
	合計	120
	96%	115

KCR-定性分析レポートは、定性情報をKCR総研独自の132項目のマトリックス分析により数値化したもので、ポーターの競争戦略理論から企業の競争力を格付けしている。★が高いほど競争力があることを意味しており、定量情報では表れない企業の将来性を格付している。KCR平均の業界環境は、64.0%、戦略型78.9%、将来リスク61.4%、経営バランス91.1%、経営トップ91.2%、定性総合評価75.9%。

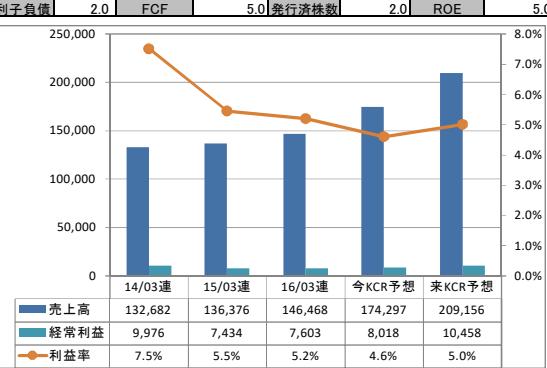
## ★の見方

戦略レベル	極めて戦略的	80~100% ★★★★★
	かなり戦略的	60~80% ★★★★
	戦略的	40~60% ★★★
	やや戦略に劣る	20~40% ★★
	戦略性に乏しい	0~20% ★

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧説を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいておりますが、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等についても責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損害・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役職員が自己売買または委託買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

VTホールディングス(株)

【コード】	【業種】	【市場】	【決算】	【上場年月】	【EPS(円)】	【PER(倍)】	【PBR(倍)】	【取引単位(株)】	【配当利回り】	2.9 %	【直近株価】	561 円(16/12)	★★★
7593	小売業	東証1部	3月	1998年9月	280.33	16.1	2.00	100	【優待利回り】	- %	【時価総額】	66,973 百万円	
【優待】	有	-	円相当	【主幹事】	東海東京	【名義代理】	三井住友信託	【実質利回り】	- %	【5年内高値】	870 円	(15/08)	
車検時利用優待券もしくはカタログギフト等、中間配当有	【メインBK】	りそな	【監査法人】	東海会計社	【資本金】			【5年内安値】	103 円	(11/12)	【株式分割】	【海外比率】	25.0
【事業内容・特徴】	【代表者】	高橋 一穂	【生年月日】	S28.1.18	【年齢】	63	【利益剰余金】	【資利倍率】	6.1 倍	【高値騰落率】	-35.5 %	【予想PER】	16.5
カードマーケティング事業。ホンダ系、日産系を主軸にマーケティングによる成長戦略とス	【自己株数】	1,726.6 千株	【安値騰落率】	444.7 %	【調整PER】					【最新EPS】	28.622 下限	【最新PBR】	0.66
トック型ビジネスモデルに特長。	【配当予想】	252.0	【配当年】	2020 年	【配当率】	44.5 %	【EPS予想】	25.0	【最新PER】	15.5	【最新PBR】	0.66	

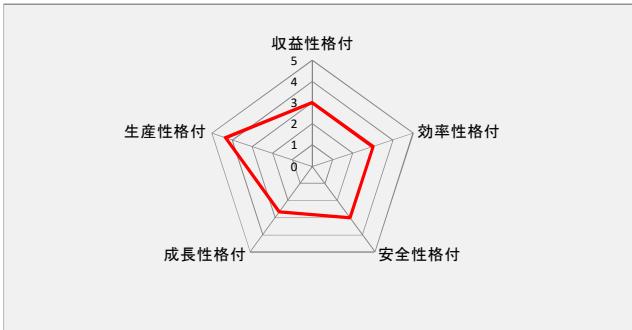


セグメント情報	(%)			(%)	(%)	(%)	(%)	(人)	(百万円)		
	16/03達	15/03達	△		外 国 人	投 借	浮動株	特 定 株	株主数	実 績	計 画
自動車販売関連	95.6%	96.3%	-0.6%	27.7	5.0	2.4	52.9	4,053	設備投資	8,925	9,709
住宅関連	4.3%	3.6%	0.7% 前々	27.2	4.7	1.9	57.8	3,501	減価償却	3,701	-
その他	0.1%	0.1%	0.0% 前	直近	26.3	5.3	1.8	58.5	3,277	研究開発	0
-										日経経営指標参考数値	
合計	100.0%	100.0%		類似・競合平均							

収益性	前々期	前期	今期予想	KGR予想	類似・競合平均値			日本電産(株)	(株)IDOM	(株)ロコワード	参考データ		
						収益性格付	3.0	前期	前期	前々期	(その他サービス5市場平均)		
純資本経常利益率(ROA)	8.0%	8.0%	7.2%	7.7%	6.1%	1.9% 評価1	<	3.0	8.6%	7.3%	2.4%	8.2% -0.2%	3.0
株主資本当期純利益率(ROE)	15.0%	12.5%	12.1%	14.6%	8.0%	4.5% 評価1	<	3.0	12.0%	11.1%	0.9%	7.5% 5.0%	3.0
売上高経常利益率	5.5%	5.2%	4.3%	4.6%	5.2%	0.0% 評価1	<	3.0	10.1%	3.3%	2.2%	6.4% -1.2%	3.0
効率性						効率性格付	3.0						3.7
総資本回転率(回)	1.5	1.5	1.7	1.7	1.4	0.1 評価1	<	3.0	0.9	2.2	1.1	1.3 0.3	3.0
流動資産回転率(回)	3.7	3.8	4.0	4.0	3.4	0.4 評価1	<	3.0	1.5	4.3	4.3	2.4 1.4	5.0
固定資産回転率(回)	2.4	2.6	2.8	2.8	2.7	-0.1 評価1	<	3.0	1.9	4.7	1.5	2.7 -0.1	3.0
安全性						安全性性格付	3.0						2.7
流動比率	87.6%	85.5%	85.8%		146.7%	-6% 評価1	<	3.0	182.0%	171.6%	86.4%	148.6% -63.1%	3.0
負債比率	194.6%	184.2%	212.9%		219.5%	35% 評価1	<	3.0	80.1%	150.8%	427.7%	101.3% -82.9%	3.0
自己資本比率	33.3%	34.4%	31.9%		37.1%	-3% 評価1	<	3.0	55.2%	39.4%	16.7%	48.8% -14.4%	2.0
成長性						成長性格付	2.7						3.0
増収率	2.8%	7.4%	18.8%	19.0%	27.1%	-19.7% 評価1	<	3.0	14.6%	34.9%	31.9%	-9.3% 16.7%	3.0
経常増益率	-25.5%	2.3%	-1.4%	5.5%	24.1%	-21.8% 評価1	<	3.0	11.1%	27.9%	33.2%	-7.6% 9.8%	3.0
自己資本成長率	10.8%	5.6%	-	-	24.0%	-18.1% 評価1	<	2.0	2.6%	7.2%	62.2%	7.8% -2.0%	3.0
生産性						生産性格付	4.3						3.7
従業員一人当たり売上高(千円)	54,225	56,573	57,711	57,810	43,769.5	12,804 評価1	<	4.0	12,197	59,700	59,411	38,433 18,140	4.0
従業員一人当たり経常利益(千円)	2,956	2,937	2,488	2,659	1486.4	1,450 評価1	<	5.0	1,235	1,942	1,282	2,472 465	3.0
従業員一人当たり当期利益(千円)	1,842	1,580	1,327	1,596	734.1	846 評価1	<	4.0	950	1,168	84	1,065 515	4.0
総合評価						総合評価付	2.0						2.0

次回より本件の計算における未満実績は未満実績を用いて算出することとする。

※アセットを伴う計算においては直近実績値を用いて算出している。									
収益性	効率性	安全性	成長性	生産性	定量評価	達人視点	総合評価	評価指數	
★★★	★★★	★★★	★★★	★★★★	★★★	★★★	★★★	★★★	63.9%
2.0	2.0	2.0	2.7	4.2	2.2	2.2	2.2	2.2	



のレポートは、投資家が最も信頼性をもつものとしている。投資動向を想るに足るものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足る上と考える情報源から得たデータ等に基づいておりますが、KCB総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ、費用等の不透明、誤り等についての責任を負うことはございません。また、当社は、貴社の担当者は全部費用を負担することに同意いたしかねない場合を除き、投資の判断はご自身でなさるようお願いします。記載された見解や予測等は、当社の判断のものであり、正確性を保証するものではありません。今後も内容が変更されることがあります。

KCR-達人視点レポート 売買管理番号 7593TS170117				3人の達人のスタンスを知るレポート。達人視点16項目により、株価は割安か、中長期投資できるかを判断する。			
VTホールディングス(株)				(7593 東証1部)連結 17/1/17 達人視点指合計 10.7			
決算	3月	〒	460-0003	TEL	052-203-9500		
住所	名古屋市中区錦3-10-32			代表者	高橋 一穂	KCR平均	12.8

【事業内容】	カーディラー専業。ホンダ系、日産系を主軸にディーラー業務を世界的に展開。M&A戦略による成長戦略とストック型ビジネスモデルに特長。						
--------	-------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--

■基本主要データ							
資本金 (百万円)	利益剰余金 (百万円)	株価 (円)	株主持分 (百万円)	発行済株式数 (千株)	BPS (円)	営業CF (百万円)	投資CF (百万円)
4,297	26,247	561	32,982	119,381.0	280	9,640	-3,220
総資産 (百万円)	有利子負債 (百万円)	配当 (1株当たり円)	配当性向	設立年月	5年内高値 (円)	5年内安値 (円)	高値騰落率 (%)
103,548	29,735	16	47.1%	1983年3月	870	103	-35.5
予想売上高 (百万円)	予想営業利益 (百万円)	予想税前利益 (百万円)	当期予想利益 (百万円)	予想EPS (円)	予想ROE (純利益率)	予想ROA (経常利益率)	自己資本比率
174,000	7,500	7,500	4,000	34.00	12.1%	7.2%	31.9%

■達人視点16項目							
資利倍率 (倍)	PBR (倍)	予想PER (倍)	有利子負債依存度	配当利回り (%)	設立年数 (年)	安値騰落率 (%)	FCF (百万円)
6.1	2.0	16.5	28.7%	2.9	34	444.7	6,420
5.0	1.0	2.0	2.0	5.0	5.0	1.0	5.0
売上高経常利益率	業種	単純平均 (円)	発行済株式数 (換算・千株)	時価総額 (百万円)	悪材料	EPS	ROE
4.3%	小売業	56.1	1,193,810	66,973	増収減益	増加	12.1%
0.0	3.0	5.0	2.0	1.0	4.0	5.0	5.0

達人の視点	評点	格付	KCR平均	達人視点レーダーチャート
達人Eの視点	2.3	★★★	3.1	
達人Tの視点	2.9	★★★	3.3	
達人Bの視点	2.3	★★	3.1	
達人総合指数	3.2	★★★	3.3	

※本レポートの3人の達人は実在する投資家の視点をKCR総研が客観的に独自分析しているもので、実在の人物とは一切関係ないことにご留意ください。

レーティング	評点	達人E氏の視点	達人T氏の視点	達人B氏の視点
★★★★★	4.5~5.0	サラリーマンから株で資産30億円を築いた投資家の視点を分析。		
★★★★	3.4~4.4	低位株投資・逆張り戦術などに特長がある。		
★★★	2.5~3.4	個人投資家として300億円の資産を株で築いた投資家の視点を分析。		
★★	1.5~2.4	長期集中投資・配当重視などに特長がある。		
★	0~1~1.4	株で5兆円を築いた世界的な著名投資家の視点を分析。割安株バリュー投資・ROEなど収益面の指標重視に特長がある。		

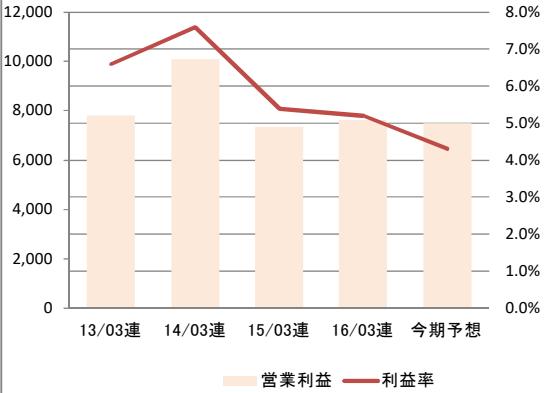
このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧説を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、また、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

VTホールディングス(株)							(7593 東証1部)連結			
基本分析	売上高	増収率	営業利益	利益率	経常利益	利率	利益	利益率	EPS	1株配当
13/03連	118,317		7,810	6.6%	7,659	6.5%	4,775	4.0%	44.93	10.0
14/03連	132,682	12.1%	10,082	7.6%	9,976	7.5%	5,126	3.9%	46.29	12.3
15/03連	136,376	2.8%	7,347	5.4%	7,434	5.5%	4,633	3.4%	39.38	14.0
16/03連	146,468	7.4%	7,619	5.2%	7,603	5.2%	4,090	2.8%	34.77	18.0
今期予想	174,000	18.8%	7500	4.3%	7500	4.3%	4000	2.3%	34.00	16.0

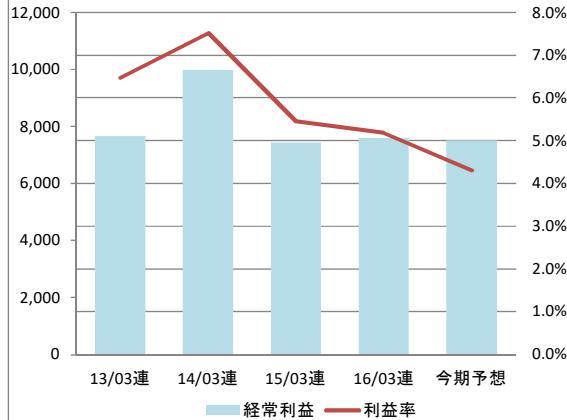
## 売上高(百万円)・増収率推移



## 営業利益(百万円)・利益率推移



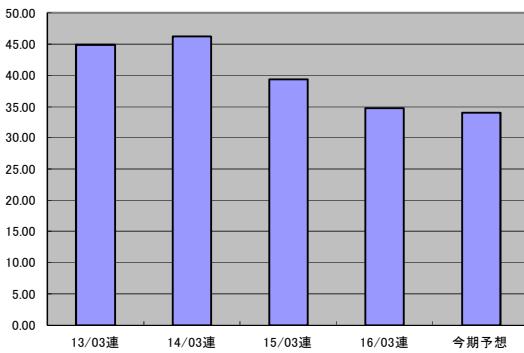
## 経常利益(百万円)・利益率推移



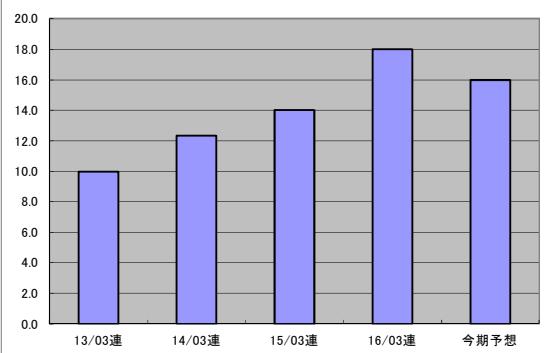
## 当期利益(百万円)・利益率推移



## EPS推移(円)



## 1株配当推移(円)

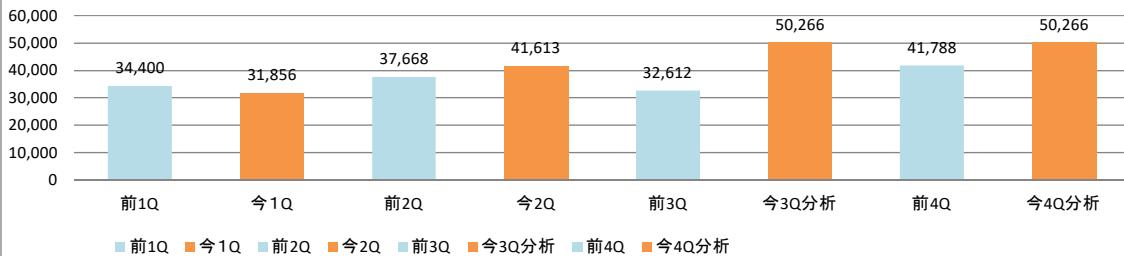


このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧説を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいておりますが、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現者の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じかかる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役職員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

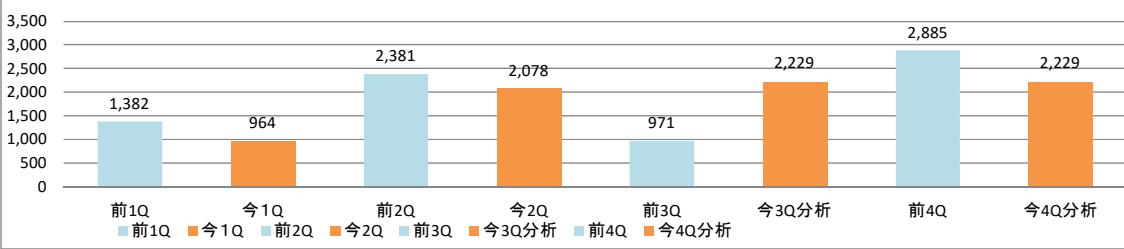
VTホールディングス(株)		(7593 東証1部)連結							
四半期分析		売上高	増収率	営業利益	利益率	経常利益	利益率	当期純利益	利益率
前1Q		34,400	-7.4%	1,382	4.0%	1,443	4.2%	603	1.8%
今1Q		31,856		964	3.0%	892	2.8%	436	1.4%
前2Q		37,668	10.5%	2,381	6.3%	2,299	6.1%	1,278	3.4%
今2Q		41,613		2,078	5.0%	2,154	5.2%	1,254	3.0%
前3Q		32,612	54.1%	971	3.0%	988	3.0%	495	1.5%
今3Q分析		50,266		2,229	4.4%	2,227	4.4%	1,155	2.3%
前4Q		41,788	20.3%	2,885	6.9%	2,873	6.9%	1,714	4.1%
今4Q分析		50,266		2,229	4.4%	2,227	4.4%	1,155	2.3%

※分析は、予想に基づき算出

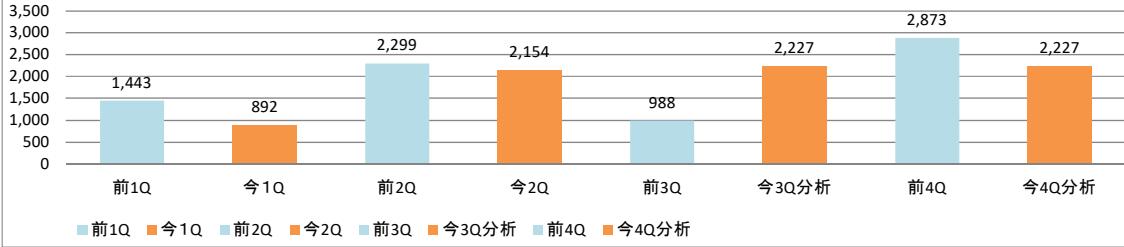
### 四半期分析(売上高・百万円)



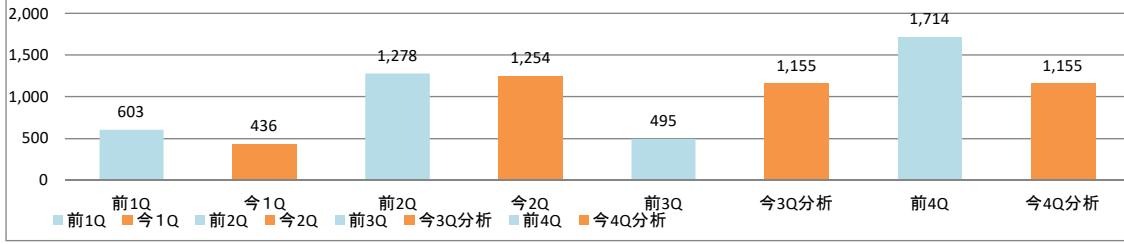
### 四半期分析(営業利益・百万円)



### 四半期分析(経常利益・百万円)



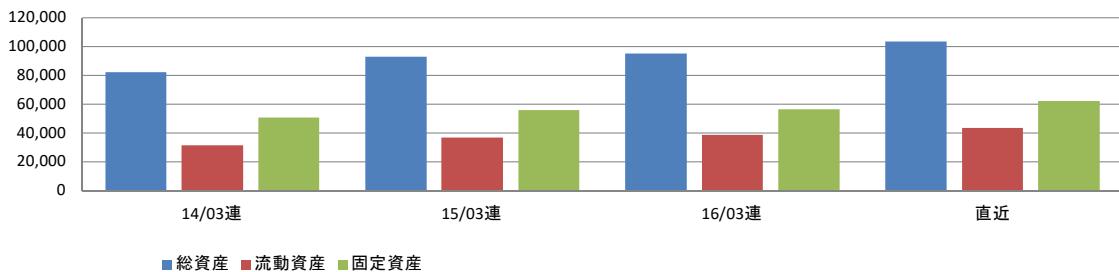
### 四半期分析(当期利益・百万円)



このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいておりますが、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいがる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役職員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

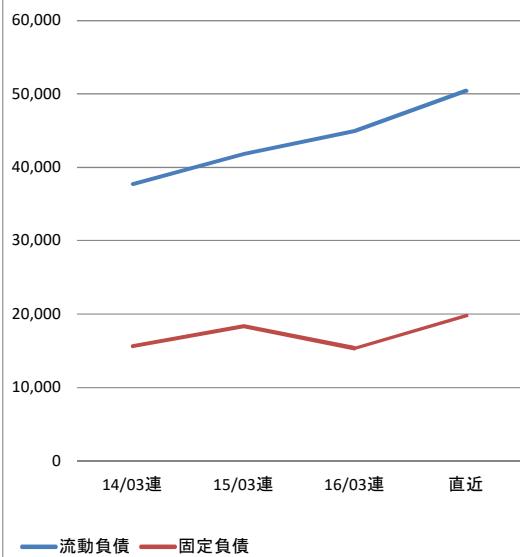
VTホールディングス(株)		(7593 東証1部)連結								
資産分析		総資産	流動資産	固定資産	流動負債	固定負債	自己資本	有利子負債	依存度	従業員数
14/03連		82,337	31,642	50,694	37,736	15,645	27,913	15,859	19.26%	2295
15/03連		92,722	36,647	56,125	41,817	18,350	30,915	21,727	23.43%	2515
16/03連		94,979	38,419	56,559	44,935	15,346	32,717	22,128	23.30%	2589
直近		103,548	43,297	61,982	50,434	19,795	32,982	29,735	28.72%	3,015

### 資産推移(百万円)

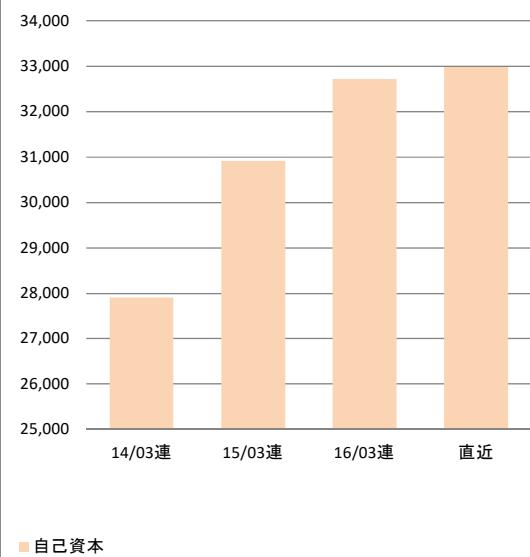


単位:百万円

### 負債推移



### 株主持分推移



単位:百万円

### 有利子負債推移



このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧説を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいておりますが、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいがなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役職員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複数枚または転送等を行わないようお願いします。

## VTホールディングス(株)

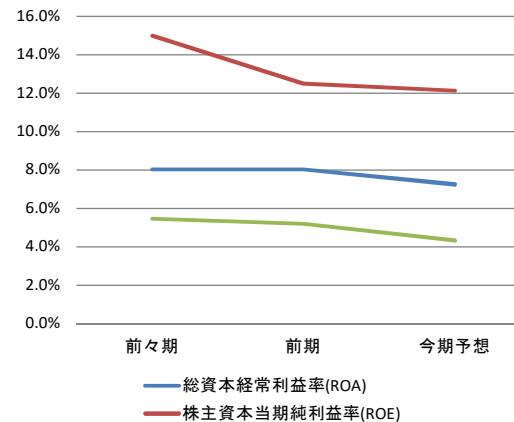
(7593 東証1部)連結

## 財務指標分析

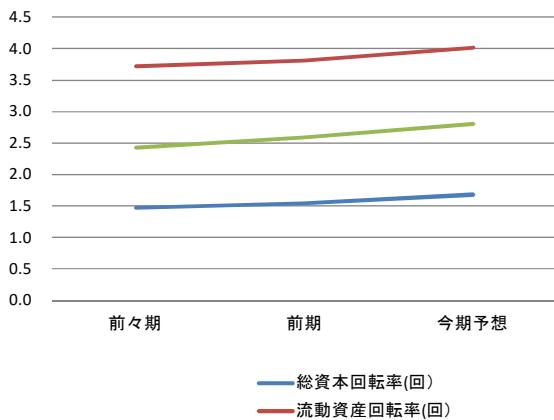
	前々期	前期	今期予想
総資本経常利益率(ROA)	8.0%	8.0%	7.2%
株主資本当期純利益率(ROE)	15.0%	12.5%	12.1%
売上高経常利益率	5.5%	5.2%	4.3%
効率性	前々期	前期	今期予想
総資本回転率(回)	1.5	1.5	1.7
流動資産回転率(回)	3.7	3.8	4.0
固定資産回転率(回)	2.4	2.6	2.8
安全性	前々期	前期	直近
流動比率	87.6%	85.5%	85.8%
負債比率	194.6%	184.2%	212.9%
自己資本比率	33.3%	34.4%	31.9%
成長性	前々期	前期	今期予想
増収率	2.8%	7.4%	18.8%
経常増益率	-25.5%	2.3%	-1.4%
自己資本成長率	10.8%	5.8%	
生産性	前々期	前期	今期予想
従業員一人当り売上高(千円)	54,225	56,573	57,711
従業員一人当り経常利益(千円)	2,956	2,937	2,488
従業員一人当り当期利益(千円)	1,842	1,580	1,327

※アセットは原則直近値を用い一定として算定

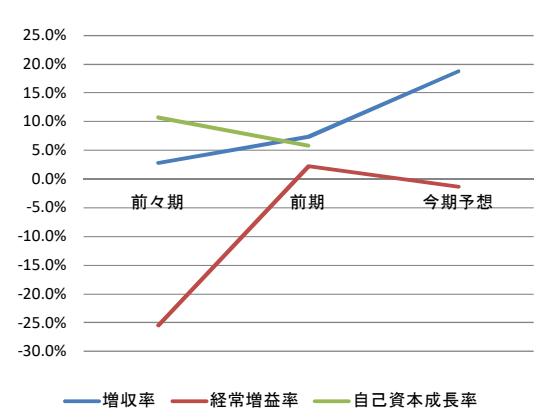
## 収益性推移



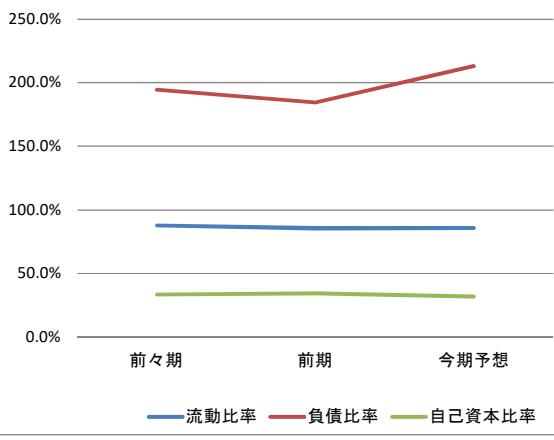
## 効率性推移



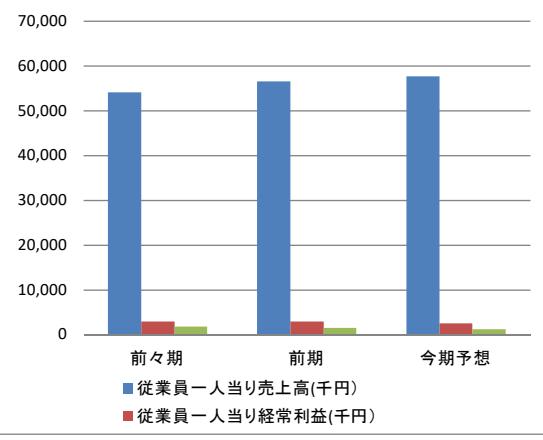
## 成長性推移



## 安全性推移



## 生産性推移



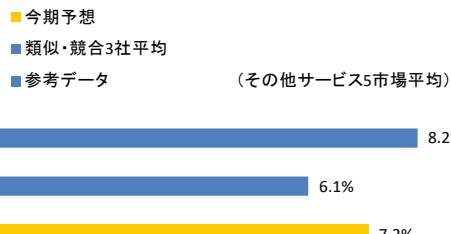
このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいておりますが、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいがる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役職員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

## VTホールディングス(株)

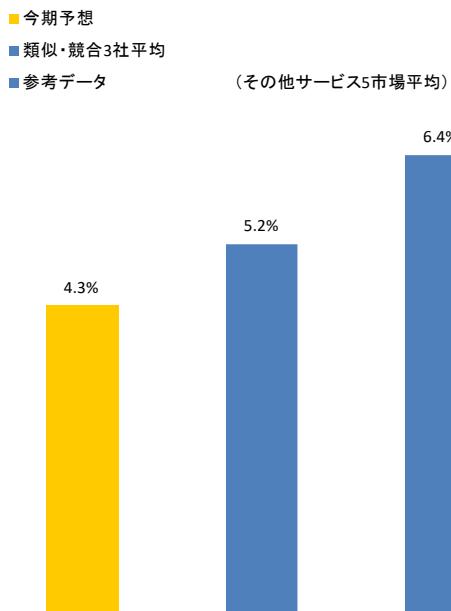
## (7593 東証1部)連結

収益性分析	今期予想	類似・競合3社平均	参考データ (その他)	類似・競合3社
総資本経常利益率(ROA)	7.2%	6.1%	8.2%	日本電産(株) (6594 東証1部)連結
株主資本当期純利益率(ROE)	12.1%	8.0%	7.5%	(株)IDOM (7599 東証1部)連結
売上高経常利益率	4.3%	5.2%	6.4%	(株)コロワイド (7616 東証1部)連結

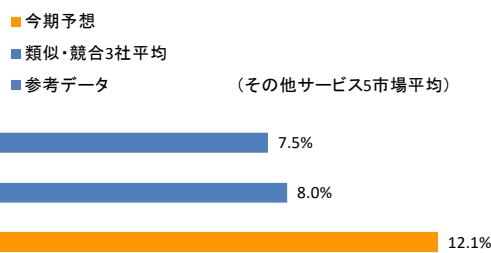
## 総資本経常利益率(ROA)



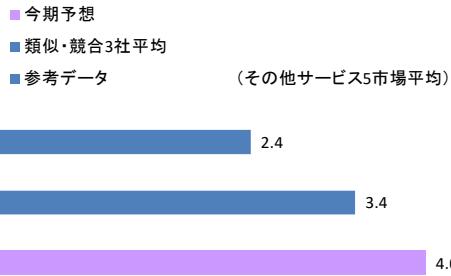
## 売上高経常利益率



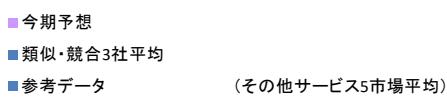
## 株主資本当期純利益率(ROE)



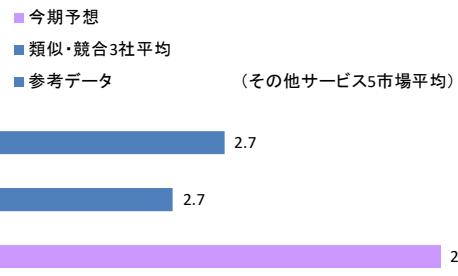
## 流動資産回転率(回)



## 総資本回転率(回)



## 固定資産回転率(回)



このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいておりますが、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じかかる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役職員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

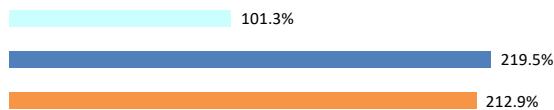
## VTホールディングス(株)

(7593 東証1部)連結

安全性分析	直近	類似・競合3社平均	参考データ (その他サービス5市場平均)
流動比率	85.8%	146.7%	148.6%
負債比率	212.9%	219.5%	101.3%
自己資本比率	31.9%	37.1%	48.8%

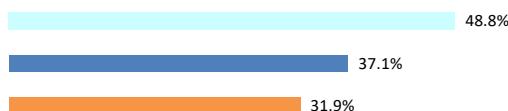
## 負債比率

- 今期予想
- 類似・競合3社平均
- 参考データ  
(その他サービス5市場平均)



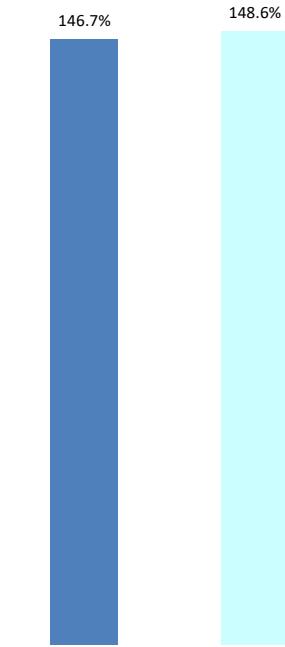
## 自己資本比率

- 今期予想
- 類似・競合3社平均
- 参考データ  
(その他サービス5市場平均)



## 流動比率

- 今期予想
- 類似・競合3社平均
- 参考データ  
(その他サービス5市場平均)



## 成長性分析

	今期予想	類似・競合3社平均	参考データ (その他サービス5市場平均)
増収率	18.8%	27.1%	-9.3%
経常増益率	-1.4%	24.1%	-7.6%
自己資本成長率	5.8%	24.0%	7.8% ※前期

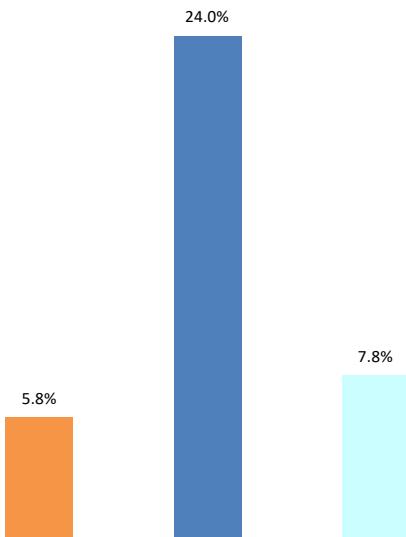
## 増収率

- 今期予想
- 類似・競合3社平均
- 参考データ  
(その他サービス5市場平均)



## 自己資本成長率

- 類似・競合3社平均
- 参考データ  
(その他サービス5市場平均)



## 経常増益率

- 今期予想
- 類似・競合3社平均
- 参考データ  
(その他サービス5市場平均)



このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧説を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいておりますが、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたかかる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役職員が自己買賣または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

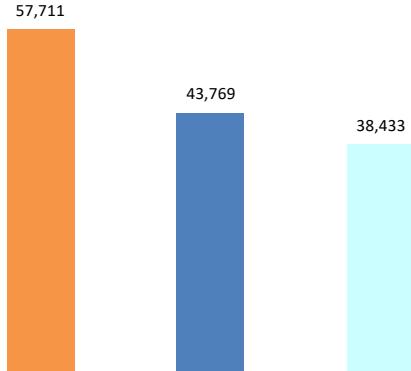
## VTホールディングス(株)

(7593 東証1部)連結

生産性分析	今期予想	類似・競合3社平均	参考データ (その他サービス5市場平均)
従業員一人当たり売上高(千円)	57,711	43,769	38,433
従業員一人当たり経常利益(千円)	2,488	1,486	2,472
従業員一人当たり当期利益(千円)	1,327	734	1,065

## 従業員一人当たり売上高(千円)

■今期予想  
■類似・競合3社平均  
■参考データ  
(その他サービス5市場平均)



## 従業員一人当たり経常利益(千円)

■今期予想  
■類似・競合3社平均  
■参考データ  
(その他サービス5市場平均)



## 従業員一人当たり当期利益(千円)

■今期予想  
■類似・競合3社平均  
■参考データ  
(その他サービス5市場平均)



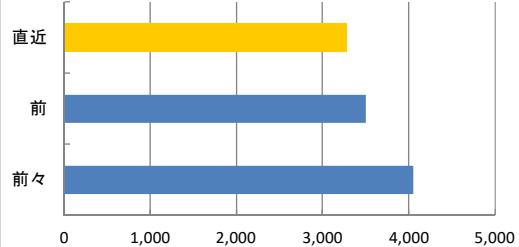
セグメント分析	16/03連
自動車販売関連	95.6%
住宅関連	4.3%
その他	0.1%
-	0.0%
合計	100.0%

	(%)	(%)	(%)	(%)	(人)
	外国人	投信	浮動株	特定株	
前々	27.7	5.0	2.4	52.9	4,053
前	27.2	4.7	1.9	57.8	3,501
直近	26.3	5.3	1.8	58.5	3,277

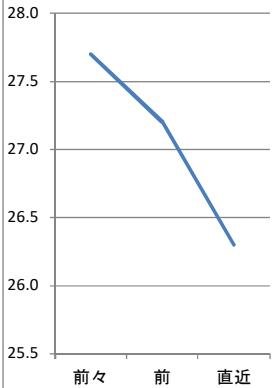
## セグメント分析



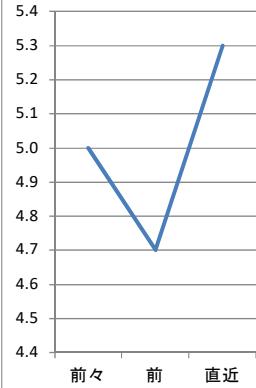
## 株主数(人)



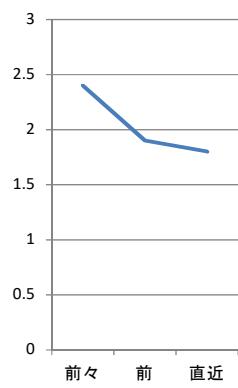
## 外国人(%)



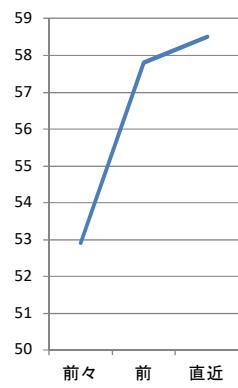
## 投信(%)



## 浮動株(%)



## 特定株(%)



このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧説を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいておりますが、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたかかる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役職者が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

## VTホールディングス(株)

(7593 東証1部)連結

## IR総合判断



【コード】 7593	【業種】 小売業	【市場】 東証1部	【決算】 3月	【〒】 460-0003	【電話】 052-203-9500
【住所】 名古屋市中区錦3-10-32				【設立年月】 1983/03	
【代表者】 高橋 一穂				【開示責任者】 取締役管理部長 山内 一郎	
【事業内容】 カーディラー専業。ホンダ系、日産系を主軸にディーラー業務を世界的に展開。M&A戦略による成長戦略とストック型ビジネスモデルに特長。				【直近株価】 561円	

## IR活動評価

## 参考データ

## 点数

## VTホールディングス(株)

## 1、IR活動実施状況(10点)

実施している	89.3%	10	10
--------	-------	----	----

## 2、IRの組織(10点)

専任部署	24.0%	10	8
総務部	4		
企画部	8		
広報部	3		
財務部	5		
経理部	3		
社長室	6		
その他	2		

## 3、経営トップの姿勢(50点)

経営トップによるIR活動をしているか	83.6%	50	50
実施している		10	10
その形態は			
トップが投資家向け説明会に参加	81.8%	10	10
トップがアナリストの個別取材を受ける	67.6%	30	30

## 4、IRコミュニケーション(80点)

決算説明会	77.7%	10	10
個別面談	32.6%	10	10
海外説明会	15.9%	10	10

## 誰に対して実施するのか

アナリスト・機関投資家	37.7%	10	10
個人投資家	13.4%	10	10
開示姿勢はフェアに行われているか	重点項目	20	20
取材を受けるだけでなく投資家を訪問	50.0%	10	10

## 5、IRツール(20点)

株主通信	89.6%	10	10
英文資料(アニュアルレポート等)	42.8%	20	10

## 6、IRサイト(100点)

IRと明示されたサイトをもっているか	97.5%	100	97
トップメッセージ	79.4%	10	10
有価証券報告書	45.9%	10	10
決算短信	42.0%	10	10
月次報告・株主通信・決算説明資料	41.5%	10	10
説明会情報	36.2%	10	7
動画	28.5%	10	10
メールマガジン	23.8%	10	10
FAQ(よくある質問への回答)	19.5%	10	10
英文版IRサイト	14.6%	10	10
	19.4%	10	10

## 7、IR効果測定(10点)

している	84.3%	10	10
------	-------	----	----

## 8、IR年間費用(10点)

500万円以上~	24.0%	10	10
----------	-------	----	----

## 合計

300

285

※採点判断については、フェアディスクロージャーに重点を置きヒアリング及び客観的評価によってKCR総研独自の判断基準を用いています。

## KCR平均

203.7

## ★の見方

総合評点	95.0%	68.0%	非常に良い270~	★★★★★
IR経営戦略度	96.0%	69.4%	良い230~	★★★★
IRオンライン充実度	100.0%	71.8%	普通180~	★★★
IRオフライン充実度	97.0%	65.4%	やや劣る130~	★★
IRツール充実度	66.7%	45.6%	非常に劣る80~	★
IRフェアディスクロ度	100.0%	70.3%	問題あり0~	-

IR戦略分析レポートとは、当該企業のIRオンライン活動、オフライン活動、IRツール充実度、IRサイト充実度、IR経営戦略レベルの5つの視点から客観的に分析・評価されたレポートであり、KCR総研では企業のIRへの戦略的取組みが株価パフォーマンスに大きな影響を与えることから格付している。

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいておりますが、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損害・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役職員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

## KCR総研のレーティングシステム

### 個別企業

- +1またはStrong Buy = 当該銘柄の12カ月間の目標株価が現在の株価を20%以上上回ると判断する場合
- +2またはBuy = 当該銘柄の12カ月間の目標株価が現在の株価を10%以上上回ると判断する場合
- +3またはNeutral = 当該銘柄の12カ月間の目標株価と現在の株価の差が+10%～-10%未満の範囲内にあると判断する場合
- +4またはSell = 当該銘柄の12カ月間の目標株価が現在の株価を-10%以上下回ると判断する場合
- +5またはStrong Sell = 当該銘柄の12カ月間の目標株価が現在の株価を-20%以上下回ると判断する場合

レーティング変更(Changed) = 決算状況や、市況変動・環境の変化等により、レーティングおよび目標株価を変更する場合

レーティング停止(Suspended) = 法令や、社内規定により、一時的にレーティングおよび目標株価を停止する場合

NR・未付与 = KCRのレギュラーカバーの対象ではありません

★★★★★ = 当該企業の買いを強く推奨する

★★★★ = 当該企業の買いを推奨する

★★★ = 当該企業の買い持ち・売り持ち(中立)を推奨する

★★ = 当該企業の売りを推奨する

★ = 当該企業の売りを強く推奨する

### セクター

強気 = 当該セクターの構成銘柄の大半の投資判断が強気の場合、あるいは我々のカバレッジ銘柄の投資判断の加重平均が強気の場合

中立 = 当該セクターの構成銘柄の大半の投資判断が中立の場合、あるいは我々のカバレッジ銘柄の投資判断の加重平均が中立の場合

弱気 = 当該セクターの構成銘柄の大半の投資判断が弱気の場合、あるいは我々のカバレッジ銘柄の投資判断の加重平均が弱気の場合

### ※レーティングの見方

※レーティング		※レーティング有効期間:12ヶ月	
	統合評価指標		
+1	Strong Buy	80%～100%	★★★★★
+2	Buy	60%～80%	★★★★
+3	Neutral	40%～60%	★★★
+4	Sell	20%～40%	★★
+5	Strong Sell	～0%～20%	★

### KCR総研の目標株価

個別銘柄のレーティングは、マネジメントによる一定の裁量の下、「(目標株価 - 現在の株価) / 現在の株価」で定義される目標株価まで株価が上昇あるいは下落する潜在的余地に基づいて付与されます。多くの場合、目標株価は12カ月後の潜在バリュエーション、すなわち割引キャッシュフロー(DCF)法やその他のバリュエーション手法を組み合わせて算出される当該銘柄の適正投資価値と等しくなります。

アナリストがレポートにおいて企業の目標株価に言及した場合、その目標株価はアナリストによる当該企業の業績予想に基づくものです。実際の株価は、当該企業の業績動向や、当該企業に関する市場や経済環境などのリスク要因により、目標株価に達しない可能性があります。

目標株価とレーティングは、それぞれの企業のレポートが発行された日現在のもので、このレポートの発行日のものとは限りません。それぞれ最近発行されたレポートをご覧下さい。KCR総研の継続フォローカバレッジに含まれていない銘柄の目標株価、レーティングは表示しません。

### アナリスト証明

表紙に名前を記載されているアナリストは、レポートに記述されている全ての見方が各自のここで議論した全ての証券や発行企業に対する各自の見方を正確に反映していることを保証いたします。  
さらに、表紙に名前を記載されているアナリストは、各自の報酬が、直接的あるいは間接的にこのレポートで議論した推奨や見方によって、現在、過去、未来にわたって一切影響を受けないこと、ならびに、KCRグループ企業が行ったいかなるコンサルティング案件とも関係ないことを保証いたします。

### 利益相反に関する開示事項

KCR総研は、契約に基づき有償にて個別企業のIRコンサルティング及びIR支援サービスを実施しております。KCR総研が過去・現在においてサービスを提供している会社につきましては、<http://www.ir-channel.jp/event/>に掲載されている企業をご参照ください。本件につき情報が必要な方はKCR総研調査部管理係り(TEL:06-6965-6100)までお問い合わせください。

本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役職員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。

表紙に名前を記載されているアナリストは本レポートのレポート発効日現在において本レポート対象銘柄の金融商品を保有しておりません。KCRグループの系列投資顧問会社である北浜キャピタル・アセット・マネジメント株式会社(近畿財務局長(金商)第66号)(社団法人日本証券投資顧問業協会会員番号022-00252)は本レポートのレポート発効日現在において本レポート対象銘柄の金融商品を保有しておりません。また、北浜キャピタル・アセット・マネジメント株式会社が無限責任組合員である北浜IRファンド第1号において本レポートのレポート発効日現在において本レポート対象銘柄の金融商品を保有しておりません。北浜キャピタル・アセット・マネジメント株式会社が無限責任組合員である北浜IRファンド第2号において本レポートのレポート発効日現在において本レポート対象銘柄の金融商品を保有しておりません。また、北浜キャピタル・アセット・マネジメント株式会社が無限責任組合員である北浜IRファンド第3号において本レポートのレポート発効日現在において本レポート対象銘柄の金融商品を保有しておりません。

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的したもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると思われる情報源から得たデータ等に基づいておりませんが、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますので了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役職員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。